

サステナビリティ

企業理念である「世の女性に美しくなって貰う事によって、広く社会に寄与する」ことを実践していくために、自らの事業活動が環境や社会に及ぼす影響を認識するとともに、本業に通じた社会的事業活動を持続的に進めることで、社会課題の解決に取り組んでいます。

基本的な考え方

当社は、社会の要請と期待に応え、社会から信頼される関係があつてこそ、健全な企業活動は遂行され、持続的な成長が可能になると考えています。土地、エネルギー、人材、多くの原材料など、さまざまな資源を社会から調達し事業活動を行っていますが、もしも社会との信頼関係がなければ、必要な経営資源の調達は叶いません。これからも、市場が存在する社会への配慮と貢献を念頭において事業活動に取り組んでいきます。

CSR活動方針

ワコールが果たすべき基本的な社会的責任は、愛される商品を作り、時代の要求する新製品を開発し、大いなる将来を考え正々堂々と営業することです。正々堂々と事業活動を展開し、お客さまが求める商品を提供する「まじめなものづくり」に取り組み、それを通じてお客さまと社会との信頼関係を構築することをCSRのベースにおいて活動しています。

ワコールは、国際標準化機構(ISO)で2010年11月に発行された「ISO26000:2010(財)日本規格協会」をもとにし、7つの原則(説明責任・透明性・倫理的行動・ステークホルダーの利害の尊重・法の支配の尊重・国際行動規範の尊重・人権の尊重)と7つの中核主題(組織統治・人権・労働慣行・環境・公正な事業慣行・消費者課題・コミュニティへの参画)に沿ってCSRを推進しています。

重要な取り組み領域

世界各地での「プレストケア」課題への支援

乳がんは、女性にとって最も罹患率が高いがんです。女性用インナーウェアを事業の中核に据える当社にとって、乳がんの増加という社会課題は、将来にわたって持続的な成長を実現する上で解決しなければならない課題であると認識しています。乳がんで苦しむ人や悲しむ人をなくすために、当社では、予防・検診の推進、術後のサポートを含めた患者さまやご家族の支援、正しい知識の普及活動を行う「プレストケア」活動を、世界14の国と地域で推進しながら、社会インフラやコミュニティの発展に尽力しています。

ピンクリボン・チャリティフィッシング

乳がんの早期発見を支援するピンクリボン活動の一環として、毎年10月に、全国約1,600店舗の売場で、ブラジャー1枚のご試着で10円を寄付する「ピンクリボン・チャリティフィッシング」を実施しています。

ピンクリボン・チャリティフィッシング(ブラジャー試着人数及び枚数)

2007/10 (スタート当初)	2017/10	2018/10	累計
111,989人 273,288枚	167,432人 457,451枚	186,670人 492,684枚	1,718,135人 5,412,559枚

国内展開会社：(株)ワコール、(株)ピーチ・ジョン、(株)ウナナクール、(株)ランジェノエル

リマンマ事業

1974年にスタートした(株)ワコールのリマンマ事業では、「いつまでも美しくありたい」という女性の願いにお答えするため、乳房を手術された方のためのインナーウェアや水着などをお客さまに提供しています。また、専門のカウンセラーによる相談会を全国で開催しています。

全国相談会(来場者数及び開催会場数)

1994/3 (スタート当初)	2017/3	2018/3	2019/3
573人 4会場	1,595人 32会場	1,791人 36会場	1,753人 33会場

リマンマ事業(2019年3月期)

売上高 **6.1億円** 売上数量* **12万点**

* インナーウェア、水着、パッドなど

乳がん検診サポート事業

乳がん検診の機会を増やすため、(株)ワコールでは乳がん検診車を購入し、2009年10月より、検診事業を展開しています。現在では、健康保険組合や企業の集団検診を中心に活動を広げています。

乳がん検診車「AIO(アイオ)」での検診実績(検診人数及び検診日数)

2010/3 (スタート当初)	2018/3	2019/3	累計
369人 15日	6,520人 163日	5,440人 136日	45,344人 1,085日



乳がん検診車「AIO」



リマンマルーム

多様な価値観を尊重した

広告・コミュニケーション表現の制作意識の向上

お客さまの価値観が多様化し、ソーシャルメディアなどの情報メディアが発展する中で、すべてのお客さまと健全で良好な関係を築いていくためには、広報・宣伝・販売促進活動においても、時代の流れを敏感に捉えたものを制作し、こころ豊かに自分らしく生きたい、美しくありたいと願う人々に共感していただくかなければなりません。

当社グループでは、商品の広告活動において、配慮に欠けた表現を行ったことにより、多くのお客さまに不快な思いをおかけする事案が発生したことを教訓に、広告表現や、その制作過程において、多様性の否定や非倫理的な行為がなされないよう、広報・宣伝・販売促進活動における表現物制作のガイドラインを策定し、再発防止に向けた取り組みを進めています。

お客さまにご批判をいただいた広告

時期	対象会社	広告内容
2018年2月	台湾ワコール(株)	スポーツ時のバストの動きをPRするインターネット広告において、動物を使用して表現
2018年6月	(株)ワコール	メンズインナーウェアのインターネット広告において、採用する素材を女性の肌に例えて表現
2018年11月	(株)ピーチ・ジョン	販売していた健康補助食品の広告において、誤った使用を招きかねない不適切な表現を採用

再発防止に向けた取り組み

取締役会において原因の追究と、再発防止に向けた取り組みを審議し、品位ある広報・宣伝・販売促進活動を行うための行動指針を策定、(株)ワコール、(株)ピーチ・ジョンにおいて運用を開始しています。その他の国内外グループ会社についても、(株)ワコールの取り組みを水平展開し、2020年3月末までに、それぞれの事業や地域特性に合わせた基準づくりと、体制整備を進める予定です。

(株)ワコールの広報・宣伝・販売促進活動における表現物制作のガイドラインと運用体制

ガイドライン

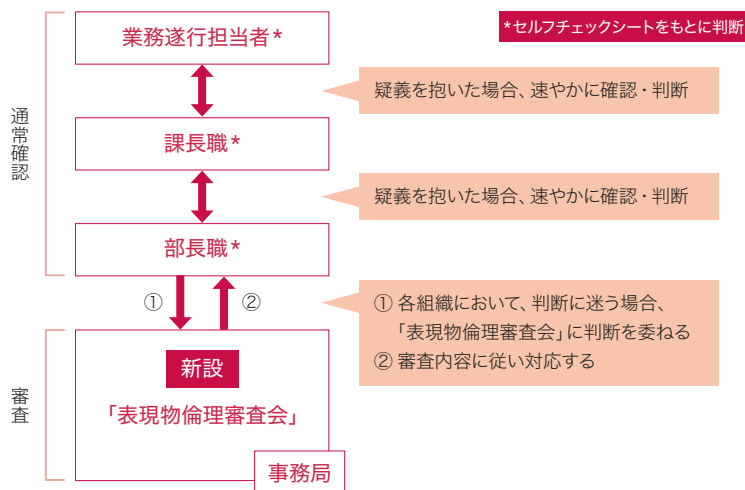
(株)ワコールは、価値観が多様化する社会の中で、時代の流れを敏感に捉え、こころ豊かに自分らしく生きたい、美しくありたいと願う人々に共感し、世界のワコールとして、世のすべての人に愛される広報・宣伝・販売促進活動を行います。

表現物制作における留意点

- 革新／創造
- 倫理／道徳／信頼
- 人権尊重
- 環境配慮
- 法令遵守／公平／公正／事実

運用体制

「表現物の倫理性」の良否判断を行う体制



セルフチェックシート内容

- I. 表現物全般について(全55項目)
- II. 情報発信について(全10項目)
- III. 制作進行及び対人関係について(全13項目)

相互信頼と協働に基づくCSR調達の推進



繊維・アパレル産業のサプライチェーンは、販売する国や地域での商品企画・設計に始まりますが、原材料の生産・調達、製品の工場での量産は、ほとんどが中国やASEANの新興諸国で行われ、輸送されてくる国際的なネットワークになっています。

当社は、2017年10月に制定した「ワコールグループCSR調達ガイドライン」において、「社会的責任を果たしていくためには、商品の生産に関わるすべてのお取引先と緊密なパートナーシップを築き、『品質』、『価格』、『納期』のみならず、『人権』、『労働慣行』、『環境』、『倫理』などの社会的要求事項についても、お取引先とともに遵守・尊重しなければなりません」と宣言し、2018年2月からガイドラインに定める内容の遵守状況を的確に把握することで、継続的な是正・改善につなげるサイクルの運用を開始しました。また、2018年5月からは開示に賛同をいただいた製造委託先工場の基本情報を当社Webサイトで公開しています。

公開している製造委託先工場の基本情報 (2019年9月現在)

会社名	公開(更新)した工場数	対象工場による製造が仕入高に占める割合	更新回数
(株)ワコール	「ワコール」・「ウイング」ブランドのインナーウェア製造委託先72工場	(株)ワコール全体の68%	2回
(株)ピーチ・ジョン	製造委託先41工場	インナーウェア、ルームウェア、ファッションウェアの81%	2回
(株)ルシアン	製造委託先22工場	インナーウェア、アウターアパレルの99%	2回
(株)Ai(アイ)	製造委託先15工場	スイムウェア、インナーウェアの77%	初回

これまでの取り組み

2017年	1月	国際人権NGOより、子会社である(株)ルシアン ^ア の製造委託先工場(ミャンマー)の労働環境に関する指摘を受け、現地調査を実施後、調査結果と今後の方針を回答	<p>ルシアン^アの製造委託先工場(ミャンマー)の改善状況</p>  <p>資格を有する専任看護師の常駐</p>  <p>トイレブースの増設</p>
	4月	調達プロセスにおける社会的責任活動の調査・是正を主導する「CSR調達プロジェクト」発足	
	10月	グループ共通の調達方法を定めた「ワコールグループCSR調達ガイドライン」を制定	
2018年	2月	製造委託先の自己評価等によるモニタリングを開始	
	4月	より実効性の高いCSR調達を実現することを目的に、「CSR調達委員会」を新設	
	5月	「ワコール」・「ウイング」ブランドの製造委託先工場リストを公開	
	7月	(株)ワコールの国内製造委託先工場を対象に、外国人技能実習生受入状況に関する調査を開始	
2019年	9月	(株)ピーチ・ジョン、(株)ルシアン ^ア の製造委託先工場リストを公開	
	9月	(株)Ai(アイ)の製造委託先工場リストを公開 「ワコール」・「ウイング」ブランド、(株)ピーチ・ジョン、(株)ルシアン ^ア の製造委託先工場リストを更新	

2019年3月期の取り組み内容と2020年3月期の計画

2019年3月期 取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ● (株)ワコール(「ワコール」・「ウイング」ブランドのインナーウェア対象)、(株)ピーチ・ジョン、(株)ルシアン、(株)Aiの全製造委託先工場の自己評価(書類調査)によるモニタリング実施 ● 自己評価の分析と各社へのフィードバック、是正・改善計画の提出を完了 ● 製造委託先工場を対象に現地監査を実施(対象工場の約1割を現地監査)
2020年3月期 計画	<ul style="list-style-type: none"> ● 上記の現地監査を継続(対象工場の約2割の現地監査を予定) ● CSR調達活動の対象範囲拡大 (株)ワコール卸売事業本部で展開するインナーウェア以外の部門、及び小売事業本部の製造委託先工場を調査対象に追加

環境活動

当社は、「地球環境を守ることは企業の責務である」との認識に立ち、環境保全に配慮した事業活動を推進しています。設計から、材料開発、そして生産・物流・販売までのさまざまな工程で、環境に配慮した取り組みを積極的に行うなど、環境負荷の少ない商品提供と汚染の予防に努めています。今後は、包装材料での脱プラスチック対応の推進や、売れ残り商品廃棄の縮減、スマートファクトリー化の推進などへの取り組みをさらに強め、地球環境や地域社会との共生を高めていきます。

環境活動実績(ワコールグループ国内事業所の実績値)

	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3
電力使用量 (千kWh)	11,279	11,086	11,383	11,821	12,095	11,942
ガス使用量 (単千m ³)	687	673	620	685	688	700
CO ₂ 排出量 (t)	6,057	5,927	5,913	6,227	6,348	6,294
水使用量 (千m ³)	121	114	112	112	113	120
OA用紙使用量 (百万枚)	25.5	26.1	24.5	24.6	23.5	21.3
廃棄物排出量 (t)	1,174	1,178	1,187	1,181	1,109	1,068
焼却廃棄物 (t)	86.5	80.1	72.3	73.8	80.8	75.4
リサイクル率 (%)	93	93	94	94	93	93

(対象: 本社ビル、スパイラルビル、浅草橋ビル、麹町ビル、京都ビル、新京都ビル、大阪ビル、守山流通センター、伏見流通センター、九州ワコール製造(株)(長崎・熊本・福岡)、北陸ワコール縫製(株)、新潟ワコール縫製(株)、及び福岡店、札幌店(ともにテナント入居))

ワコール独自の自己評価指標: 付加価値・CFP(カーボンフットプリント)*1比率(対象:(株)ワコールホールディングス、(株)ワコール)

CO₂の排出単位量当たり、いくらの付加価値を生み出したかをを用いて効果測定しています。本指標は、付加価値労働生産性(付加価値*2/総労働時間)とCO₂排出量当たりの労働時間との積で表されます。従業員一人ひとりが能力を高め、効率よく働くこと、稼働時間における環境負荷を低減させること、という2つの側面で捉え直すことで、一人ひとりの行動につなげようとするものです。

$$\text{付加価値・CFP比率} = \frac{\text{付加価値}}{\text{CFP}} = \frac{\text{付加価値}}{\text{総労働時間}} \times \frac{\text{総労働時間}}{\text{CFP}}$$

付加価値 291.3億円	総労働時間 9,197千時間	CFP	付加価値 297.2億円	総労働時間 9,006千時間	CFP
総労働時間 9,197千時間	CFP 3,328t		総労働時間 9,006千時間	CFP 4,100t	
2011年3月期 8.75百万円/t		1.49百万円/t低下	2019年3月期 7.26百万円/t		

*1 CFP(カーボンフットプリント)比率は、電気・燃料・水・廃棄物に由来するものを含みます。エネルギー由来については、各年の地域ごとの換算値を使用しています。

*2 付加価値 = 営業利益 + 人件費(営業・製造) + 減価償却費(営業・製造)

モーダルシフトの推進

深刻なトラックドライバー不足への対策、震災などの有事の際でも商品をお届けできる配送対応ルートの多様化、環境への配慮を目的に、ワコール流通(株)ではモーダルシフト(貨物などの輸送手段の転換)を推進しています。2014年4月より、首都圏の百貨店に配送するセール用商品をトラック輸送から鉄道輸送に切り替えたほか、2016年5月からは、北海道札幌市内向けのセール用商品を日本海ルートによるフェリーで輸送する取り組みも開始しています。これらの取り組みは、商品の配送時におけるCO₂排出量の削減に貢献しています。

モーダルシフトによるCO₂排出量の削減効果
トラック輸送の1/8

環境管理システムISO14001及びKES 認証の取得

ISO14001認証取得会社

国内 (株)ワコール、ワコールサービス(株)、(株)ウンナナクル、ワコール流通(株)、九州ワコール製造(株)

海外 広東ワコール有限公司、(株)ベトナムワコール

KES(京都環境マネジメントシステムスタンダード)認証取得会社

新潟ワコール縫製(株)、北陸ワコール縫製(株)、(株)トリーカ、(株)ルシアン

プラ・リサイクル活動

お客さまからの「ブラジャーが捨てにくい」というアンケート結果を受け、(株)ワコールでは2008年からご愛用いただき不用になったブラジャーの回収を行っています(2019年3月期は、2018年12月1日から2019年3月31日までの期間で実施)。

商品を回収した袋は、未開封のまま処理し、産業用固形燃料(RPF)に加工しています。

回収したブラジャーの枚数

2008/3 (スタート当初)	2018/3	2019/3	累計
約30,000枚	約279,000枚	約265,000枚	2,241,000枚



プラ・リサイクルバッグ



加工された産業用固形燃料(RPF)